



Pack
18

Ferrari

250 GTO



Ferrari

250 GTO

組み立てガイド

| | | |
|----------------|-----------|-------|
| STAGE69 | リアホイール・左 | P.273 |
| STAGE70 | リアホイール・左② | P.277 |
| STAGE71 | リアホイール・左③ | P.281 |
| STAGE72 | リアホイール・左④ | P.285 |



リアホイール・左

左側のリアホイールの組み立てを始めよう。4回にわたって作業を続けていく。

69-1



69-2



69-3



69-4



69-5



69-6



69-7



パーツリスト

69-1 インナーホイールリム

69-2 スポークハウジング

69-3 タイプBハブ

69-4 タイプAハブ

69-5 タイプCハブ

69-6 タイプAスポーク×13 (1本は予備)

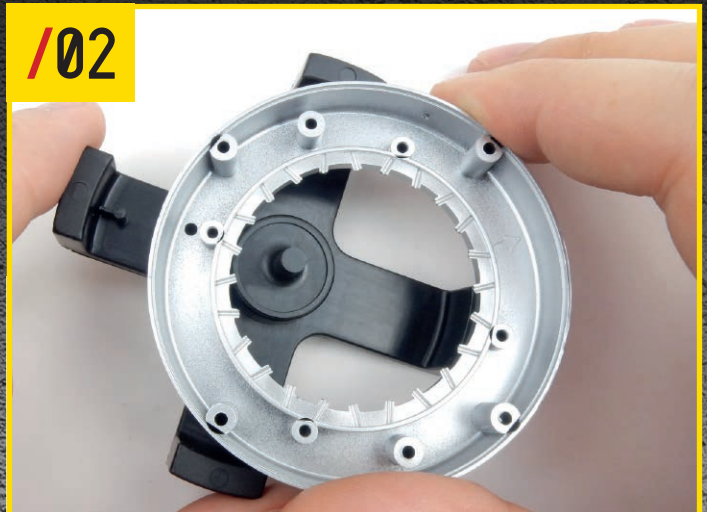
69-7 タイプBスポーク×13 (1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったらネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネラルオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。



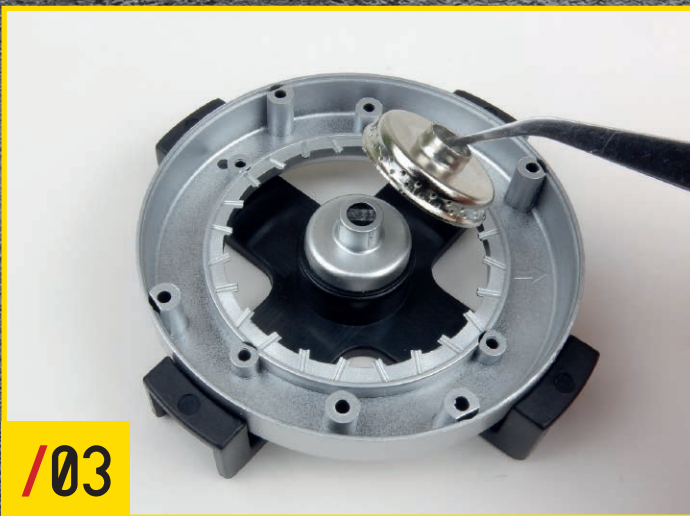
/01

STAGE 21 で受け取った 21-1 (組立ジグ) と 69-1 (インナーホイールリム) を用意する。ジグには小さな固定スタッドがあり、ここにインナーホイールリムの穴を合わせる。



/02

69-1 (インナーホイールリム) を 21-1 (組み立てジグ) に固定する。組み立てを進める前に、両面テープを小さく切って、21-1 (組み立てジグ) の中央のスタッド四隅に貼り付けておくとうい。次にハブを所定の位置に置くときに安定させることができる。



/03

69-3 (タイプBハブ) を 21-1 (組み立てジグ) の中央スタッドに配置する。写真のように置いたら、その上に 69-4 (タイプAハブ) を合わせる。



/04

スポークを取り付ける前に、69-1 (インナーホイールリム) 内側に、小さく切った両面テープを貼り付けよう。こうすることで、スポークを所定の位置に留めておくことができる。

※両面テープはホイールから外側にはみ出さないように注意する。



/05



69-4(タイプAハブ)下の穴の列に69-7(タイプBスポーク)を取り付けていく。69-6(タイプAスポーク)よりも短い方であることを確認する。各スポークは、まずフックの端を挿入し、それからまっすぐな端の方を、両面テープを貼った69-1(インナーホイールリム)のノッチに配置していく。Bスポークをすべて組み込んだとき、それぞれ両隣りの穴は空いている。

写真のようにスポークが正しく取り付けられているかどうか、確認しておく。

/06



/07



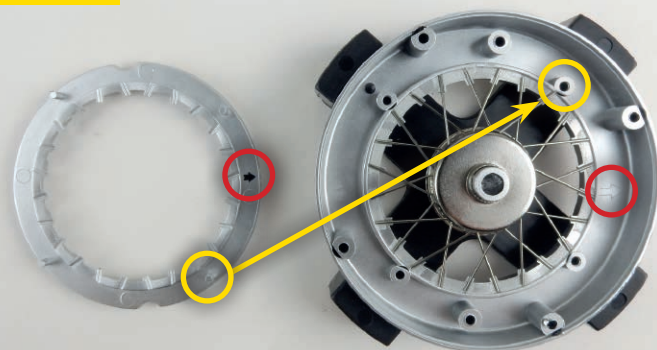
69-6(タイプA スポーク)を取り付けよう。フックの端を69-7(タイプBスポーク)のすぐ左にある穴に、Bスポークの上を通過するように挿入する。写真のように、Aスポークの一端を配置する69-1(インナーホイールリム)のノッチを確認しよう。

/08



写真のように、すべてのスポークが正しく取り付けられたか確認しよう。

/09



最後に、69-2(スポークハウジング)を69-1(インナーホイールリム)の内側にはめ込む。写真の矢印のように正しく合わせよう。



STAGE 09 の完成

今回仕上がった左側のリアホイール。次の組み立て作業まで大切に保管しておこう。

リアホイール・左②

左側のリアホイールの組み立てを続ける。写真をよく見て慎重に進めよう。

ネジB×3



70-1



70-2



パーツリスト

70-1 スポークハウジング②

70-2 タイプAスポーク×13 (1本は予備)

ネジ類

ネジB (P2.3×5mm) ×3 (1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったらネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネラルオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締められなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

STAGE 70

/01



STAGE 69 で組み立てたリアホイールを用意する。作業を進める前に、スポークハウジングの側端に小さく切った両面テープを貼り付けよう。

/02



70-2(タイプAスポーク)のフックを、ハブに残っている下側の穴に挿入する。Aスポークのまっすぐな端の方は、スポークハウジングの対応するノッチ(両面テープが貼られている場所)に配置する。写真のようにAスポークを正しく配置する。

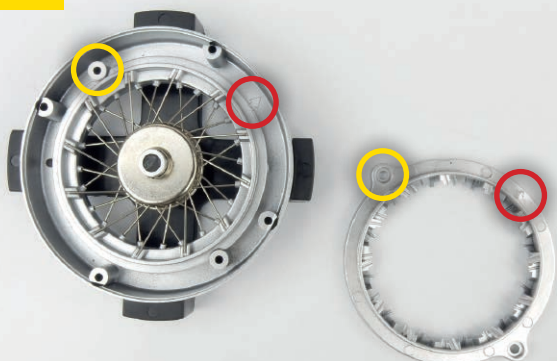
/03



タイプAスポークがすべて、写真のように取り付けられているか確認しよう。



/04



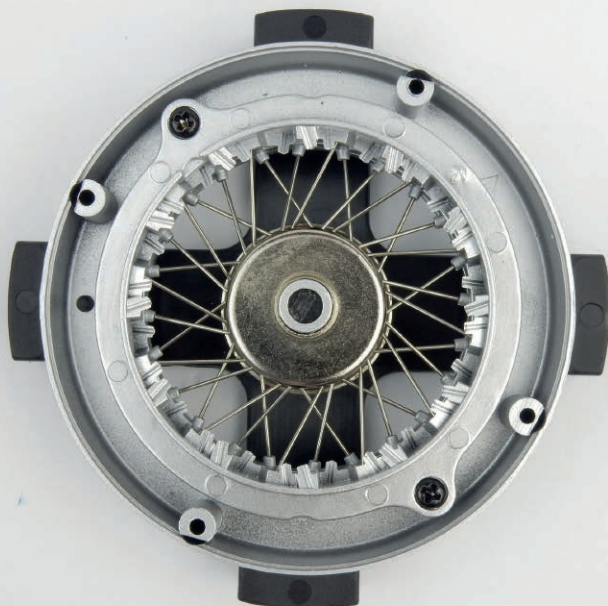
70-1 (スポークハウジング②)を、
写真のようにはめ込む。

2本のネジBで固定する。

/05



/06



すべてのパーツが正しく取り付けられて
いるか確認しよう。

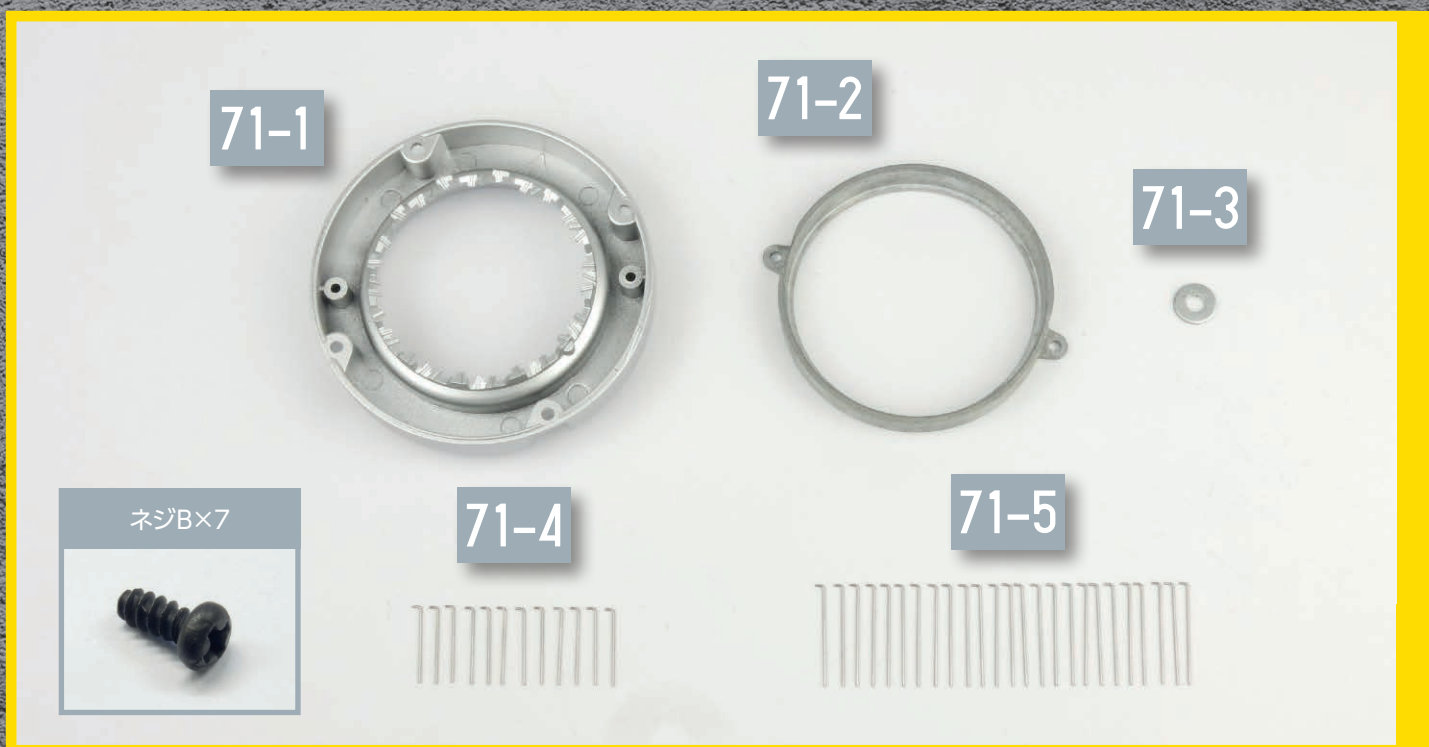


STAGE70 の完成

左側のリアホイールがここまで仕上がった。他のパーツとともに大切に保管しておこう。

リアホイール・左 ③

左側のリアホイールの組み立てを続ける。次回で完成だ。



パーツリスト

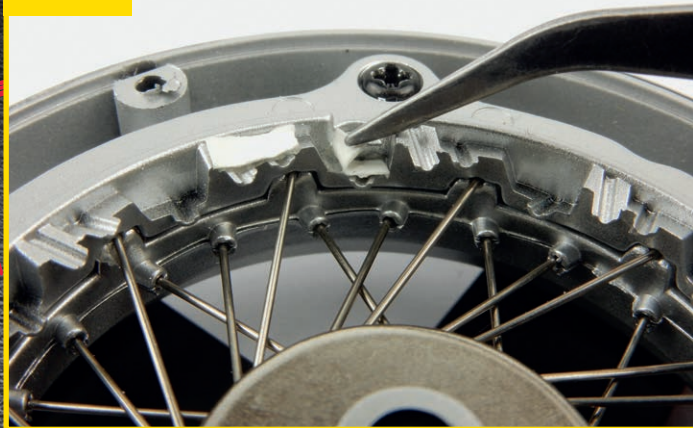
- 71-1 アウターホイールリム
- 71-2 シールリング
- 71-3 ワッシャー
- 71-4 タイプAスポーク×12
- 71-5 タイプCスポーク×25 (1本は予備)

ネジ類

ネジB (P2.3×5mm) ×7 (1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったらネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネラルオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

/01



71-4(タイプAスポーク)のフックを、69-4(タイプAハブ)の残りの穴に挿入する。写真のように、スポークは向きを正しくし、まっすぐな端の方を、70-1(スポークハウジング②)のノッチに配置する。

STAGE 70 で組み立てた左側のフロントホイールを用意する。組み立てを始める前に、70-1(スポークハウジング②)の端に小さく切った両面テープを貼り付けておこう。

/02



71-4(タイプAスポーク)をすべて組み込んだら、69-5(タイプCハブ)を写真のように置く。

/03



/04



71-5(タイプCスポーク)のフックを、69-5(タイプCハブ)の下の穴に挿入する。



写真のように、Cスポークのまっすぐな端の方をハウジングのノッチに配置する。ハブの下の穴すべてが埋められるまで、この手順を繰り返す。

さらに、71-5(タイプCスポーク)のフックを、69-5(タイプCハブ)の上の穴に挿入する。

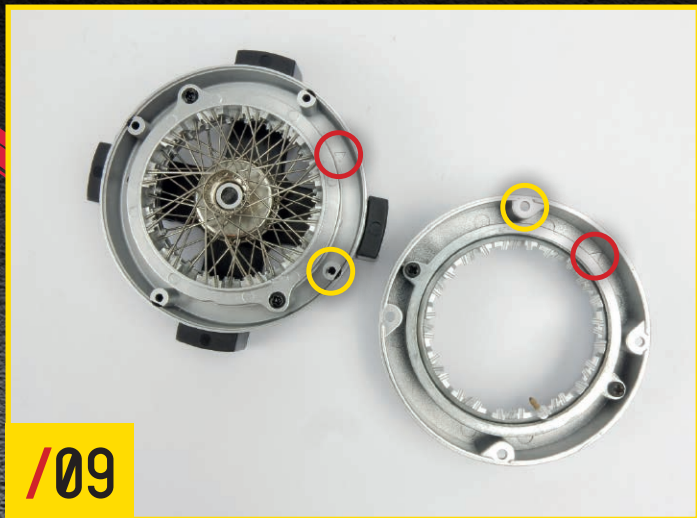


Cスポークのまっすぐな端の方を、ハウジングの一番上にあるノッチに配置する。ハブの一番上の穴すべて埋められるまで、この手順を繰り返す。



71-2(シールリング)を71-1(アウターホイールリム)の内縁に固定する。写真のように、2本のネジBで固定する。





71-1 (アウターホイールリム)をホイールに取り付ける。写真のように、円で囲んだ部分を合わせる。

4本のネジBでリムをホイールに固定する。



STAGE 7 の完成

左側のリアホイールの組み立てがここまで終わった。次回で左側のリアホイールを完成させよう。

リアホイール・左 ④

タイヤをはめ込んでリアホイールを完成させよう。写真をよく見て、慎重に作業を進めよう。

72-1



パーツリスト

72-1 タイヤ

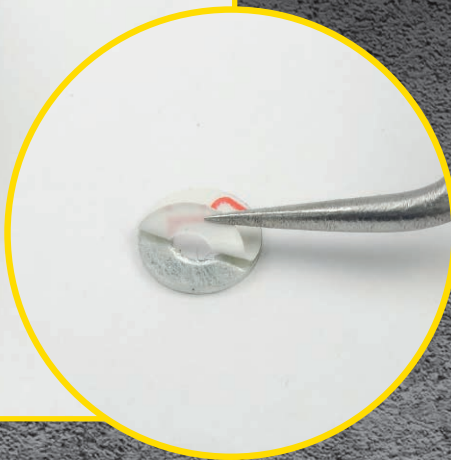
ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったらネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

STAGE 72

/01



STAGE 71 で組み立てた左側のリアホイールと71-3(ワッシャー)を用意する。円内写真のように、ワッシャーの保護フィルムをはがす。



フィルムをはがしたワッシャー側の面を下に向け、写真のようにタイプCハブに挿入する。

/02



/03



写真のようにワッシャーが配置されているか確認しよう。



/04



72-1(タイヤ)をホイールにはめ込む前に、(たとえば、ヘアドライヤーなどでタイヤを少し温めておく)とよい。ゴムが少しでもやわらかくなると扱いやすい。

タイヤに十分な柔軟性があることを確認する。

/05



/06



タイヤに左側リムをはめ込む。
※組み立てジグは残りのホイールを組み立てるときに使うので、大切に保管しておこう。



STAGE 72 の完成

これで左側リアホイールの組み立てが完了した。他のパーツとともに大切に保管しておこう。